

1 現状・課題

- 都内救急搬送人員数（0～14歳（東京消防庁管内））は約52,000人、うち約5,800件が整形外科選定事案（選定科目に「整形外科」が含まれるもの）【東京消防庁データ（平成29年）より】
- 整形外科事案は骨折等が多く、小児の手術等に対応できる医療機関が少なく、選定困難となるケースが多いと想定される

\*救急医療の東京ルール（救急患者の迅速な受入れ）

東京ルール事案：救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先医療機関が決定しない事案  
 →「東京ルール事案」に該当する救急搬送患者を地域（二次保健医療圏内）で受け止めるため、島しょ地域を除く全ての二次保健医療圏において、搬送調整や受入れ機能を担う東京都地域救急医療センターを指定

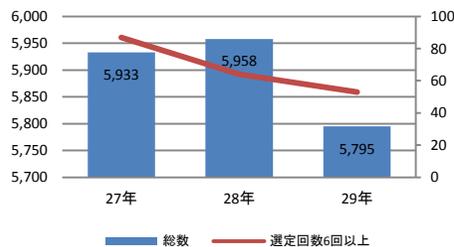
2 分析

救急搬送人員（0～14歳（東京消防庁管内））のうち、選定科目に「整形外科」が含まれるものについて分析

(1) 全体の推移

- 総数は6,000件弱で推移
- 選定回数6回以上の件数・割合ともに減少傾向

	27年	28年	29年
総数	5,933	5,958	5,795
うち選定回数6回以上	87	64	53
選定回数6回以上/総数	1.47%	1.07%	0.91%



(2) 発生地域（医療圏別件数）

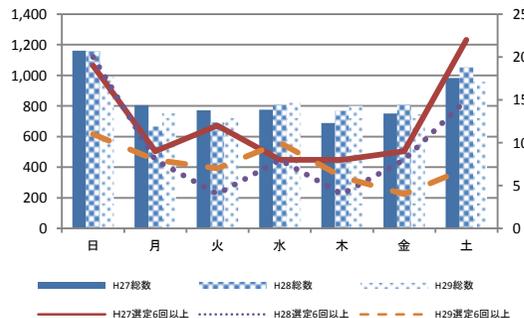
- 29年は、比較的、区西南部、区東北部、区東部の「選定6回以上」の件数が多い
- 各圏域、件数・発生率ともに概ね減少傾向

医療圏	27年			28年			29年		
	総数	選定6回以上	発生率	総数	選定6回以上	発生率	総数	選定6回以上	発生率
区中央部	450	2	0.4%	419	5	1.2%	432	4	0.9%
区南部	475	8	1.7%	467	10	2.1%	490	4	0.8%
区西南部	569	10	1.8%	531	1	0.2%	481	6	1.2%
区西部	444	3	0.7%	453	5	1.1%	437	1	0.2%
区西北部	785	8	1.0%	755	4	0.5%	790	3	0.4%
区東北部	743	28	3.8%	771	18	2.3%	705	18	2.6%
区東部	686	6	0.9%	687	14	2.0%	710	8	1.1%
西多摩	237	1	0.4%	229	0	0.0%	223	0	0.0%
南多摩	585	9	1.5%	628	2	0.3%	597	1	0.2%
北多摩西部	268	3	1.1%	282	0	0.0%	286	1	0.3%
北多摩南部	379	6	1.6%	414	3	0.7%	348	4	1.1%
北多摩北部	312	3	1.0%	322	2	0.6%	296	3	1.0%
合計	5,933	87	1.5%	5,958	64	1.1%	5,795	53	0.9%

(3) 発生時間帯・曜日

① 曜日別件数推移

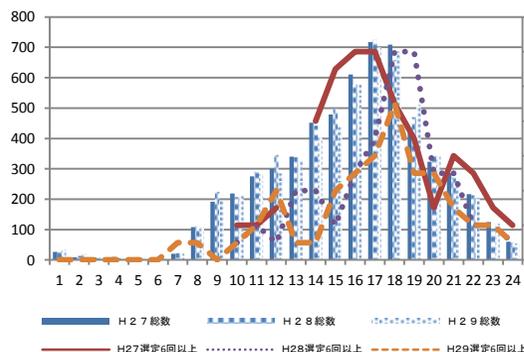
- 「総数」・「選定6回以上」とともに土曜日及び日曜日の発生件数が多い傾向



曜日	27年		28年		29年	
	総数	選定6回以上	総数	選定6回以上	総数	選定6回以上
日	1,161	19	1,159	20	991	11
月	804	9	665	8	753	8
火	771	12	693	4	724	7
水	775	8	809	8	822	10
木	688	8	769	4	800	6
金	751	9	808	8	747	4
土	983	22	1,053	15	958	7
合計	5,933	87	5,956	67	5,795	53

② 時間帯別件数推移

- 「総数」・「選定6回以上」とともに概ね14時から18時までの間で発生件数が多い



覚知時間	27年		28年		29年	
	総数	選定6回以上	総数	選定6回以上	総数	選定6回以上
0～1時台	35	1	41	1	54	
2～3時台	18	1	14	1	12	
4～5時台	11		13		16	
6～7時台	128		132		127	2
8～9時台	411	2	430	1	406	1
10～11時台	575	5	636	3	566	6
12～13時台	792	8	779	8	727	2
14～15時台	1,090	23	1,074	7	1,015	9
16～17時台	1,426	21	1,383	19	1,385	15
18～19時台	759	10	813	17	851	10
20～21時台	503	11	483	7	462	5
22～23時台	185	5	158	3	174	3
合計	5,933	87	5,956	67	5,795	53

2 分析(つづき)

(4) 傷病名

■ 全体では「打撲」が最も多く、選定回数6回以上では「骨折」が最も多い

【全体】

キーワード	平成27年		平成28年		平成29年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
骨折	1,162	19.6%	1,201	20.2%	1,084	18.7%
打撲	2,002	33.7%	1,940	32.6%	1,926	33.2%
外傷	550	9.3%	534	9.0%	599	10.3%
挫傷	385	6.5%	365	6.1%	351	6.1%
挫創	487	8.2%	427	7.2%	398	6.9%
脱臼	146	2.5%	111	1.9%	118	2.0%
肘内障	194	3.3%	247	4.1%	213	3.7%
捻挫	272	4.6%	253	4.2%	265	4.6%
その他	735	12.4%	880	14.8%	841	14.5%
合計	5,933	100%	5,958	100.0%	5,795	100.0%

【選定回数6回以上】

キーワード	平成27年		平成28年		平成29年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
骨折	46	52.9%	38	59.4%	31	58.5%
打撲	16	18.4%	11	17.2%	6	11.3%
外傷	5	5.7%	2	3.1%	6	11.3%
挫傷	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
挫創	3	3.4%	4	6.3%	1	1.9%
脱臼	5	5.7%	3	4.7%	2	3.8%
肘内障	1	1.1%	0	0.0%	1	1.9%
捻挫	1	1.1%	2	3.1%	2	3.8%
その他	8	9.2%	4	6.3%	4	7.5%
合計	87	100%	64	100.0%	53	100.0%

(5) 年齢区分

■ 全体では「12~14歳」が最も多く、選定回数6回以上では概ね「6~8歳」が多い

【平成27年：年齢区分別件数】

年齢	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	合計
全体(総数)	821	1,017	1,290	1,334	1,471	5,933
うち選定回数6回以上	11	10	22	21	23	87

【平成28年：年齢区分別件数】

年齢	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	合計
全体(総数)	843	996	1,300	1,351	1,468	5,958
うち選定回数6回以上	6	9	24	13	12	64

【平成29年：年齢区分別件数】

年齢	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	合計
全体(総数)	846	956	1,214	1,372	1,407	5,795
うち選定回数6回以上	6	5	16	13	13	53

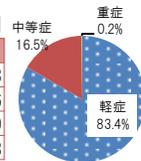
(6) 初診時傷病程度

■ 全体では「軽症」が最も多い

■ 選定回数6回以上では「中等症」が最も多くなるが、「軽症」も5割弱を占める

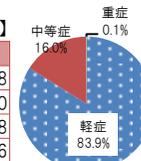
【平成27年：全体】

傷病程度	件数
軽症	4,948
中等症	976
重症	9
合計	5,933



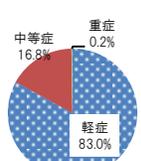
【平成28年：全体】

傷病程度	件数
軽症	4,998
中等症	950
重症	8
合計	5,956



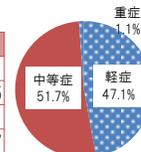
【平成29年：全体】

傷病程度	件数
軽症	4,810
中等症	971
重症	14
合計	5,795



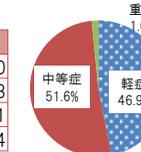
【平成27年：選定回数6回以上】

傷病程度	件数
軽症	41
中等症	45
重症	1
合計	87



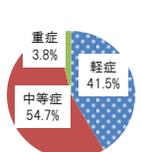
【平成28年：選定回数6回以上】

傷病程度	件数
軽症	30
中等症	33
重症	1
合計	64



【平成29年：選定回数6回以上】

傷病程度	件数
軽症	22
中等症	29
重症	2
合計	53



3 今後の対応 - 地域小児医療研修事業の拡充 - [平成31年度]

■ 地域小児医療研修事業に「小児救急コース」を新設

■ 外部研修「ITLS Pediatric(病院前外傷救護・小児コース)」「JATEC(外傷初期診療ガイドライン)」(対象:診療所医師)、「JATEC(外傷初期診療ガイドライン)」(対象:指定二次救急医療機関(小児科)の医師)を受講した場合の受講料及びテキスト代を補助

⇒ 小児外傷に対応できる人材の育成・確保に繋げ、小児救急全体の充実を図る